

## 試験研究成果普及情報

部門	資源管理・増養殖	対象	普及・研究
課題名：ノリ養殖支援情報提供の高度化			
<p>[要約] ノリ養殖における技術情報の的確化を図り、迅速な解析と提供を目的として、調査船等により収集した、気象・海況データおよび共販データのデータベース化を実施するほか、育苗期に実施している健全度調査結果のデータベース化を、情報解析・表現のためのプログラム開発を行う。</p> <p>その結果、「のり養殖通報」、「のり芽健全度調査」等、迅速かつ質の高い情報提供が可能となる。</p>			
キーワード ノリ、生産管理、健全度調査			
実施機関名 水産総合研究センター 東京湾漁業研究所 のり・貝類研究室			
実施期間 1991年度～2006年度			

### [目的及び背景]

近年、生産不調が頻発しているノリ養殖において、育苗期におけるノリ芽の健全度調査手法の改良や気象海況データ等のデータベース化を進め、これら情報の高度解析を迅速に行う手法を開発する。そしてこれら情報の提供やそれに基づく技術指導を的確に実施し、ノリ養殖の安定化に資する。

### [成果内容]

1. 東京湾漁業研究所等に設置した気象盤による気象観測結果、調査船や漁業者による水質観測結果や、のり共販データなど、気象・海況・のり生産に関する多くのデータのデータベース化が進んだことにより、水温等の長期変動や、単年度の海況・生産状況の特徴を迅速に把握し、情報提供することが可能となった。また、情報解析・表現のためのプログラム開発を行った結果、ノリ養殖に重要な年内の水温降下の特徴が明確になるとともに、漁場内水温・塩分等の分布表示が可能となった。
2. 健全度調査結果のデータ収集・解析プログラムの開発や、ノリ芽画像データの蓄積を行った結果、ノリ芽健全度について詳細かつ客観的な情報提供が可能となった。
3. 情報提供にあたっては、「のり養殖通報(月 2 回程度発行)」、「のり芽健全度調査(週 3 回×4 週間発行)」の発行によるほか、毎年 9 月に実施されるノリ漁期前講習会や各地区で適宜に実施されるのり養殖ブロック会議等、漁業者研修会・会議で随時実施した。

### [留意事項]

#### [普及対象地域]

県下のノリ生産漁業協同組合

#### [行政上の措置]

#### [普及状況]

「のり養殖通報(月 2 回程度発行)」、「のり芽健全度調査(週 3 回×4 週間発行)」等

[ 成果の概要 ]

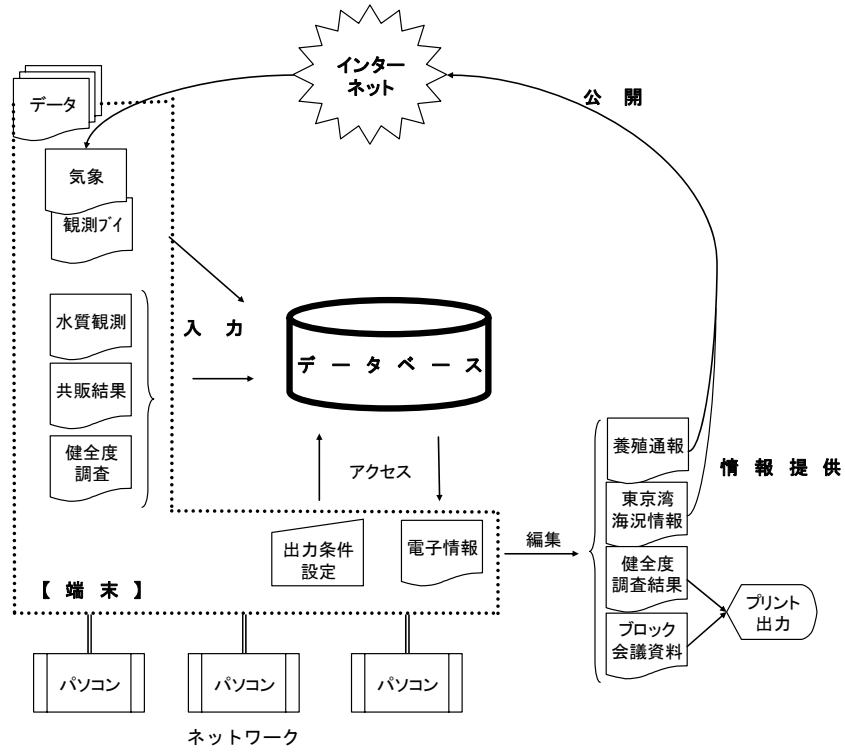


図1 データベース利用のイメージ

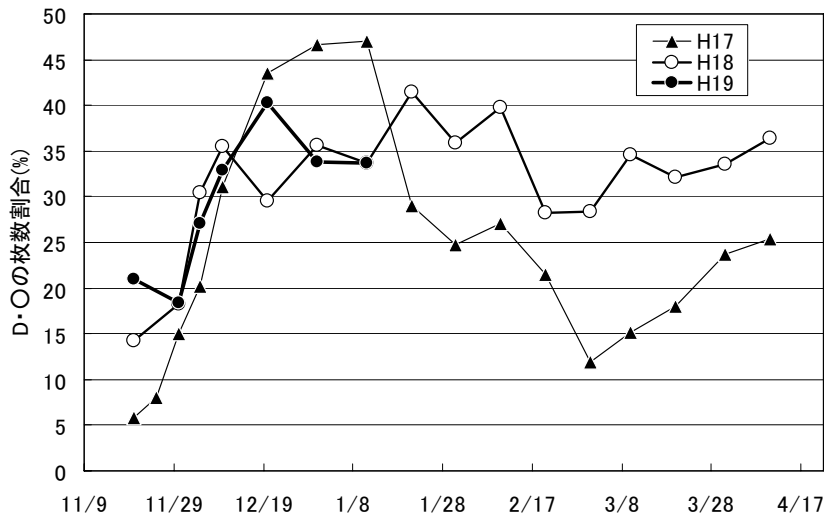


図2 のり共販システム利用による解析事例  
共販回次ごとのD・O等級の枚数割合(%)

[ 発表及び関連文献 ]

[ その他 ]